

# そよかぜ通信

2026年1月 発行  
相談・療育支援課  
療育・医療的ケア児相談担当  
住所 上山市河崎3-7-1  
電話 023-673-3366(代)

今回のそよかぜ通信は、下記の内容をご紹介します。

- ◆ 児童入所部門の紹介
- ◆ リハビリテーション科の紹介
- ◆ 歯科の紹介



笑顔  
あふれる☆

## 児童入所部門の紹介



みなさん、こんにちは！児童入所部門の日々の活動や行事の様子をご紹介します。夏まつりやクリスマス会などの季節を感じるイベントのほか所外活動も行っています。子どもたちの楽しそうな笑顔をぜひご覧ください。

### ★夏祭り★



### 七夕



### 所外活動



発電中



南イオンにおでかけ♪

### ハロウィン



Trick or Treat!  
お菓子くれなきゃたばざら  
しちゃうぞ!

エネルギー回収施設(川口)

# リハビリテーション科の紹介

こんにちは！リハビリテーション科です。リハビリテーション科には、理学療法（PT）・作業療法（OT）・言語聴覚療法（ST）の3つの職種があります。医療棟1階に理学療法室と作業療法室、管理棟1階に言語聴覚療法室があり、6名の理学療法士、4名の作業療法士、5名の言語聴覚士、リハビリ前診察室には、リハビリ受付を行う職員が1名働いています。

リハビリテーションでは、遊びの要素を取り入れながら、お子さんの成長にあわせたプログラムをおこない、発達を促すお手伝いや出来ること・楽しめることが増えるようライフステージに沿ったお手伝いをしています。

## 理学療法（PT：Physical Therapy）ってなに？

理学療法では、主に座る・立つ・移動するなど運動に関するリハビリテーションをおこないます。基本的な運動発達の促し、呼吸など生命を維持する機能の改善や維持、変形・痛みなどの二次的な障がい予防と改善に結びつくことを目的にしています。

## 作業療法（OT：Occupational Therapy）ってなに？

作業療法では、家庭や学校など生活のなかでの苦手さに関するリハビリテーションをおこないます。運動や手の機能、日常生活・園や学校場面での動作、認知・社会的な発達につながることを目的にご家族と協力して支援しています。

## 言語聴覚療法（ST：Speech-Language-Hearing-Therapist）ってなに？

言語聴覚療法では、コミュニケーションがうまく取れないことで集団生活や家庭生活の中で困っていること、苦手なことに関するリハビリテーションをおこないます。様々な活動や一緒に楽しく遊ぶことを通じて、やりとりの楽しさや、伝えることの便利さ、考えることの面白さを経験してもらえるよう支援しています。また、声の出しにくさや、聞こえにくさがあるお子さんには、コミュニケーションの補助となる手段を獲得するためのお手伝いもおこなっています。





理学療法室



作業療法室



言語聴覚療法室

私たちは、毎日お子さん・ご家族の笑顔に元気もらっています！  
 それぞれの職種の専門性を活かしながら、一人一人のお子さんのライフステージの中で関わる療法士や療育スタッフ、園、学校の先生など、お子さんに関わるさまざまな機関と連携をはかりながら、**お子さん・ご家族が安心して楽しく過ごしていける。**そんなお手伝いができたらいいなと思っています。なにか不安なこと、ご相談がありましたら、いつでも気軽にお声掛けください！！

### お知らせ

～令和 7 年度障がい児地域療育担当者研修会・発達障がい支援センター研修会の開催～

日 時 令和 8 年 2 月 20 日 (金) 午後 1 時 10 分～午後 3 時 40 分

申込期限 令和 8 年 2 月 6 日 (金)

内 容 『ダウン症、肢体不自由のある児の口腔ケア』 歯科医長 田中 朋子

『ダウン症、肢体不自由のある児の食事支援の実際』 言語聴覚主査 清野 美紀

対象となる事業所には通知を送付しております。詳細については通知をご確認ください。

4 ページのコラムもご覧ください！

こども医療療育センター

**当センター歯科での取り組み**山形県立こども医療療育センター  
歯科医長 田中 朋子

皆様、あけましておめでとうございます。

寒い日と暖かい日と繰り返し、雪も積もったり消えたりの繰り返し。体調を整えるのに苦労しますね。今年一年もよい年になればなと願っています。

さて、突然ですが、皆さんしっかりと歯医者さんに定期検診に行っていますか？ 私も年に数回は歯医者さんに行っています。歯科は痛みが出たときにしか行かない、学校歯科検診で何もチェックされなかったから行っていないという方、いらっしやいませんか？ 残念ながら以前からずっと歯科は嫌われてしまうことが多いです。

歯の治療にはどんなイメージがあるでしょうか？ 痛み、音、振動、長く口を開いて苦しい、何をされるか分からないなど苦手だなと思う方が多いと思います。実際、切削器具や吸引の音、姿勢の維持、臭いなど診療室は苦手な刺激だらけの空間かもしれません。

当センターの歯科では、まずしっかりと問診をさせていただき、その子にあった治療の進め方をしています。治療を絵カードで示したり、スケジュール化したり、カウントするなど、分かりやすくかつスピーディに楽しい環境でできるよう心がけています。口周囲の過敏が強く歯みがきをとってもいやがる場合には、脱感作をじっくりしてからケアを行います。その日の体調や気分などを見ながら、無理をしないで歯みがきだけの日もあったり、お話をいっぱいしておわったりすることもあります。むし歯が多数あったり、複数の親知らずの抜歯が必要になったりした場合には、全身麻酔下で治療を行うこともあります。

お口のケアは一生続きます。障がいのあるなしに関わらず、ケアを怠ればむし歯や歯周病になります。食事の改善（甘いおやつやジュース、規則正しい食事時間）、正しい歯みがきの習慣（自立みがき、仕上げみがき）と定期的な検診が必要です。障がいにより痛みを訴えるのが難しく、お口の中を保護者がチェックすることが難しいこともあり、気がつくとき大きなむし歯ができていたことが多くあります。診療ができるだろうかという保護者の方の気持ちもあり、歯医者に行くのがなかなか難しいのが現状と思います。障がい＝むし歯ではありませんが、偏食や口内過敏、生活習慣の乱れ、強い緊張やかみしめ、薬剤の副作用などからむし歯や歯周病になりやすい因子はあります。でも乳幼児期からしっかり管理されていれば、むし歯がないまま成長する子もいます。なかには、歯医者さんが好きと言ってくれる子もいるんですよ。

痛みが出るくらいのむし歯ができてから歯科受診となれば治療がとても大変です。むし歯や歯周病は早期発見、早期治療が必要です。早くからかかりつけ医をもちましょう。当センター歯科の予約がなかなかとりにくいと指摘を受けることもありますが、現在なるべく多くの方に利用していただけるよう仕組みを整えているところです。訪問歯科や地域の歯科医院との併診を希望される方もいます。県のホームページで対応してくれる歯科医院を紹介していますのでご覧になってください。何か心配なこと、聞きたいことがあればいつでもいらしていただければと思います。一緒にこどものお口の健康を守りましょう！



【編集担当】 山形県立こども医療療育センター 相談・療育支援課（担当：太田・小林）  
〒999-3145 山形県上山市河崎三丁目7番1号  
TEL (023) 673-3366(代表) FAX (023) 673-3757